

J-SLA ニュース・レター 2013 年 9 月号

J-SLA 会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今回のニュース・レターは、「2013 年 J-SLA 秋の研修会」と

「中央大学人文科学研究所「言語の理解と産出」公開研究会」のご案内です。

■ 2013 年 J-SLA 秋の研修会

J-SLA 秋の研修会では、第二言語習得研究ならびにその関連分野において
ご活躍中の研究者を招待して、現在の研究について、専門外の人にもわか
りやすく話していただきます。

日時： 2013 年 10 月 27 日(日) 10:30~17:00

会場：上智大学（図書館 L911）

参加費： 1,000 円（会員、非会員とも）

Program

10:00- 受付

講演 1 10:30-12:00 大津由紀雄氏

「第一言語獲得研究から見た第二言語獲得研究」

講演 2 13:30-15:00 広瀬友紀氏

「大人と子供の即時処理のあり方を探る：眼球運動測定実験を通して」

講演 3 15:15-16:45 篠原茂子氏

“Loanword Phonology and L2 Perception”

* 講演時間は 70 分で、その後質疑応答に 20 分を予定しております。

* 事前申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

<http://www.j-sla.org/event/2013autumn/>

問合せ先：J-SLA 事務局 柴田美紀 shibatam@hiroshima-u.ac.jp

■ 中央大学人文科学研究所「言語の理解と産出」 公開研究会のご案内

この度、中央大学人文科学研究所「言語の理解と産出」チームでは山口福祉文化大学講師の石澤徹 氏をお招きして 10 月 3 日（木）に公開研究会を開催することになりました。

詳細は以下の通りです。

講演者：石澤 徹 （山口福祉文化大学 講師）

テーマ：英語を母語とする日本語学習者の特殊モーラ知覚—促音の誤聴に着目して—

要旨：本発表では、第二言語として日本語を学ぶ英語母語話者が特殊モーラをどのように知覚しているかについて、アクセント核および重音節の位置の影響という観点から検討する。特に促音では、誤聴の傾向を分析することで学習者の促音知覚の実態を示すとともに、母語の影響及び第二言語独自の発達の可能性について議論したい。

日程：10 月 3 日（木）16:30~18:00 （ご講演の後、懇親会を行います）

開催場所：中央大学多摩キャンパス 2 号館 4 階 研究所会議室 1

（部屋番号については、おってご連絡致します）

<http://www.j-sla.org/lecture-at-chuo-university/>

問合せ先：中央大学大学院文学研究科英文学専攻博士後期課程

秋本隆之

Takayuki AKIMOTO

Ph. D. Student

Graduate School of Letters, Chuo University

e-mail: akitaka.fallingred1985@gmail.com

今回は、以上です。

J-SLA 事務局 柴田美紀

J-SLA 広報 横田秀樹